

2020年12月28日

Information News 第146号

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2020年12月21日～2020年12月25日の期間に発表された、食品に関連する話題を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

バックナンバーは、弊社ホームページにも掲載しております。

<https://food-analab.jp/news/index.html>

2020年最後の配信となります。皆様には本年も大変お世話になり、誠にありがとうございました。2021年もどうぞよろしくお願いいたします。

★★分析テクノからのお知らせ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★  
弊社の年末年始休業期間は、12/30（水）～1/4（月）とさせていただきます。  
誠に勝手ではございますが、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

なお、年末年始に関わる期間の試験品受け取り、保管、試験結果報告予定日につきましては、お問い合わせください。

【お問い合わせ先】

千葉本社 043-237-5676  
大阪オフィス 06-6781-6210  
関西事業所 0743-59-0775

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

<文部科学省>

・日本食品標準成分表の改訂について

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/mext\\_00432.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00432.html)

⇒日本食品標準成分表が5年ぶりに8訂版として改訂されました。概要は以下のPDFにまとめられています。

[https://www.mext.go.jp/content/20201225-mxt\\_kagsei-mext\\_00432\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20201225-mxt_kagsei-mext_00432_01.pdf)

<厚生労働省>

・薬生食監発1222第4号「放射線照射に係る輸入時検査の強化について（一部改正）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000708748.pdf>

⇒スペイン産パプリカパウダーで放射線照射（殺菌目的）が検出されています。

・薬生食監発1221第1号「輸入生食用かきの取扱いについて」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000708308.pdf>

・<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000709532.pdf>

薬生食輸発1223第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（ベトナム産きびのアフラトキシン）

・輸入食品に対する検査命令の実施

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_15707.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15707.html)

⇒当該農産物から総アフラトキシン（B1,B2,G1,G2の総和）が10 $\mu$ g/kgを超えて検出され、検査命令となっています。

・「これからのテレワークでの働き方に関する検討会報告書」を公表します

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_15768.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15768.html)

・これからのテレワークでの働き方に関する検討会報告書 概要

<https://www.mhlw.go.jp/content/11911500/000711677.pdf>

- ・薬生食輸発1222第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（パレスチナ（ヨルダン川西岸及びガザ）産アーモンド加工品のアフラトキシン）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000708658.pdf>
- ・薬生食輸発1222第2号「令和2年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（パレスチナ（ヨルダン川西岸及びガザ）産アーモンド加工品のアフラトキシン）  
 ⇒当該品目に対して検査命令が解除され、モニタリング検査に緩和されています。
- ・薬生食輸発1224第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（韓国産生鮮青とうがらしの検査命令免除対象輸出者の削除）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000710798.pdf>  
 ⇒当該農産物より農薬テブフェンピラドが基準値を超えて検出され、検査命令となっています。
- ・事務連絡「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（ベトナム産赤とうがらし及び青とうがらしのプロピコナゾール）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000711775.pdf>
- ・生食輸発1224第2号「令和2年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（韓国産青とうがらしのテブフェンピラド、ニュージーランド産はちみつのグリホサート及びガーナ産カカオ豆の2，4-D）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000710808.pdf>  
 ⇒ベトナム産赤とうがらしの農薬テブフェンピラドに対して、モニタリング検査頻度が引き上げられています。一方、ガーナ産カカオ豆の農薬2，4-Dについてはモニタリング検査頻度が緩和されています。
- ・薬生食輸発1225第1号「令和2年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（メキシコ産青とうがらしのプロピコナゾール及びロシア産さけ・ますのマラカイトグリーン）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000711779.pdf>  
 ⇒メキシコ産青とうがらしの農薬プロピコナゾール及びロシア産さけ・ますの動物用医薬品マラカイトグリーンについて、モニタリング検査頻度が引き上げられています。
- ・生食監発1223第2号「スペインから輸入される牛肉等の取扱いについて」別ウィンドウで開く[47KB]  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000709853.pdf>
- ・薬生食監発1223第3号「オーストリアから輸入される牛肉等の取扱いについて」別ウィンドウで開く[8KB]  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000709919.pdf>
- ・薬生食監発1223第4号「中国産乾燥きくらげの取扱いについて」別ウィンドウで開く[74KB]  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000709942.pdf>  
 ⇒中国産乾燥きくらげからサルモネラ属菌が検出されています。
- ・生食発1223第3号「「ゲノム編集技術応用食品及び添加物の食品衛生上の取扱要領」の一部改正について」別ウィンドウで開く[591KB]  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000710269.pdf>
- ・生食監発1225第4号「ブラジルから輸入される牛肉等の取扱いについて」別ウィンドウで開く[14KB]  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000711787.pdf>
- ・生食発1225第12号「通知等により様式が定められた申請書等に係る国民及び民間事業者等の押印及び署名の見直しについて」別ウィンドウで開く[176KB]  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000712381.pdf>
- ・薬生食基発1225第2号/生食監発1225第5号「通知等により様式が定められた申請書等に係る国民及び民間事業者等の押印及び署名の見直しについて」別ウィンドウで開く

[166KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000712384.pdf>

・薬生食検発1225第7号「通知等により様式が定められた申請書等に係る国民及び民間事業者等の押印及び署名の見直しについて」別ウィンドウで開く[76KB]  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000712386.pdf>

・「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（小麦中のデオキシニバレノールに係る成分規格の設定）に関する御意見の募集について

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495200347&Mode=0>

⇒小麦中のカビ毒デオキシニバレノールについて、成分規格（1.0mg/kgを超えて含有するものであってはならない）が設定される見込みです。告示日は令和3年4月上旬、適用期日は令和4年4月を予定しています。

<農林水産省>

・第8回「食品産業もったいない大賞」の受賞者決定！

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kankyoi/201222.html>

⇒農林水産大臣賞を生活協同組合コープこうべ様が受賞されています。

・新たに2産品を地理的表示（GI）として登録

⇒「河北せり」（宮城県）及び「清水森ナンバ」（青森県）が、地理的表示（GI）に登録されました。現在、105品目がGIとして登録されています。

・フランスのオート・ピレネー県及びジェール県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について

[https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201224\\_11.html](https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201224_11.html)

・野菜の生育状況及び価格見通し（令和3年1月）について

<https://www.maff.go.jp/j/press/seisan/engei/201225.html>

⇒指定野菜14種（消費量が多く、国民生活にとって重要な野菜として野菜生産出荷安定法で定められた野菜：ダイコン、ニンジン、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ、ネギ、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、ジャガイモ、サトイモ、タマネギ）のうち、はくさい、キャベツ、レタス、ピーマンの価格が安めで推移する見込みです。報道でもあるように、今年は天候が順調であったため、例年と比べて野菜の生育が良好で安値となっています。企業をはじめご家庭でも野菜をたっぷり使うことが望まれます。

<消費者庁HP掲載の回収情報>

アレルギー関連 2件  
消費/賞味期限関連 2件  
微生物関連 1件（大腸菌群）  
異物関連 1件（金属）

計6件（先週比-4件）

★★弊社HPの分析項目アクセスランキング★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

	1位	2位	3位	4位	5位
12/20-	残農/動薬 異物		官能/物性	栄養/機能	アレルギー
12/13-	残農/動薬 異物		アレルギー	官能/物性	栄養/機能
12/ 6-	残農/動薬 異物		官能/物性	栄養/機能	アレルギー

↓官能評価/物性評価ページはこちら↓

<https://food-analab.jp/service/flavor.html>

★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に配信しております。本メールがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配

信を停止致します。

※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。

-----  
株式会社ハウス食品分析テクノサービス

インフォメーションニュース係

Mail: [info2@food-analab.co.jp](mailto:info2@food-analab.co.jp)

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台1丁目4番

[TEL:043-237-5676](tel:043-237-5676) FAX:043-237-2912

URL:<https://food-analab.jp/>  
-----